

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
機械工学インターンシップコース レポート⑩
「留学を通して」

私は約 1 年間の留学を通して多くのことを学ぶことができました。楽しいことばかりではなく大変なこともたくさんありました。しかし、それも含めたアメリカでの経験の全てが留学だと思うので、とても貴重な体験ができました。今回の最終レポートでは、私が留学を通して感じたアメリカと日本の違いについて書こうと思います。

大学の違い

アメリカの大学の授業を受講し、初めに感じたことは、勉強する環境が整っていることです。1 つの授業に最大 40 人くらいの生徒が授業を受けるため、先生との距離が近く、授業中でも気軽に質問することができます。日本の大学では、100 人を超える生徒が同じ授業を受けることは珍しくありません。そのため、わからないところを先生に質問できなかったり、授業に集中できないことが多々あります。

また、フィンドレー大学では、ELL Support Center という私のような留学生が、英語に関する質問をすることができる場所があり、私を含め多くの留学生が手厚いサポートを受けることができました。

他にも、勉強以外のサポートも充実していると感じました。フィンドレー大学にはランニングマシンやバスケットコートが無料で使える本格的なジムがあり、気軽にストレスを解消することができました。またハロウィンやクリスマスを祝ったり、スポーツ大会を行ったりと、大学内で多くのイベントが行われます。私は、なるべく多くのイベントに参加し、アメリカならではの祝い方や楽しみ方を体験することができました。

また、アメリカの学生は日本の学生に比べて勉強に熱心だなと感じました。フィンドレー大学の周りには、あまり遊ぶところがないため、勉強に集中するのに最適な場所でした。



職場での働き方の違い

私は約1年弱のインターンシップを通してアメリカと日本の働き方や考え方の違いを学ぶことができました。

まず初めに、アメリカで働いている人はほとんどの人が定時に仕事を止め、帰宅していました。日本でバイトをしていたところの会社では、全員ではありませんが、多くの社員の方が定時を過ぎても帰らず仕事を続けていました。



なんとしても仕事を時間内に終わらせようという雰囲気をアメリカのエンジニアから感じたので、どうして定時に帰ることにこだわるのかを尋ねたところ、アメリカではそれが普通のこと、早く帰って家族と一緒に時間を過ごしたいと言っていました。

また、ミーティングにも違いが出ていました。日本では、決まった時間に集まり、みんなで物事を決めますが、集まった内の数人が意見を述べ、残りの人はただうなずくだけというミーティングを見たり、聞いたりしてきました。しかし、アメリカでは、必要な人数だけ集まり、その後すぐに仕事場に戻ります。何か1つの事を決めるのにアメリカ人の方が、早く決定し行動に移していたと感じました。

アメリカでは普通かもしれませんが、日本だと気が利かないと思われることもあります。このように感じたときの出来事をご紹介します。会社でゴミ掃除をするときに、一緒に働いている方に「ほうきを取って下さい」と言いました。すると、その方はほうきだけを持ってきました。私は Thank you と言いましたが、心の中では「一緒にちりとりも持ってきてほしかったな。」と思いました。アメリカ人と日本人の間には文化の違いがあるため、こういうズレが生じるのは仕方がないことだと思います。

このような経験から、私が社会人となり海外で仕事をする機会を得た場合、日本と海外で働き方を柔軟に変える必要があると感じました。

文化の違い

アメリカと日本の文化にも大きな違いがあり、留学当初はまだアメリカの文化に馴染めていませんでしたが、友人や先生と接しているうちに、馴染むことができました。

アメリカ人同士は日本人同士より圧倒的に人間関係の距離を縮めるスピードが早いです。アメリカ人と会ったら、How are you?やHow is it going?などと質問したあと少しの会話が始まります。しかも、知らない人でも同じような感じで挨拶をします。日本人なら初めて会う人に向かって調子はどう?などと聞かないと思います。しかし、この挨拶のおかげですぐ仲良くなり、連絡先を交換することができました。

また、アメリカ人は私の想像以上に細かいことを気にせず生活しているなと感じました。例えば、ミーティング時間に友人が遅刻して来ても、誰もその人に文句を言いません。雨が降っていても多くの生徒は傘をささずに登校します。

これらの違いに初めは驚きましたが、だんだんその生活に慣れました。文化の違いを肌で感じることでとても良い経験となりました。



約1年という長い留学でしたが、終わるとあっという間でした。短かったと思いますが、アメリカでやりたいことは全部できたので大変満足 of いくものとなりました。今後は私はアメリカで学んだことを私の大学や母校の生徒に伝えて、留学は身近な存在で、日本人と外国人との考え方の違いを学ことができ、将来の選択肢が広がるチャンスであることを伝えたいと思います。